

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

みなと報告

台風による大量漂流物からの航路確保に向けて ~近畿地方整備局との合同訓練~

小松島港湾・空港整備事務所(以下、当事務所)の海面清掃兼油回収船「みずき」は、船舶航行の安全を確保し、海洋環境の保全を図るため、海面に浮遊する流木等のゴミの回収を行います。また、事故によって船舶等から流出する油の回収等を海上保安庁等の要請を受けて行います。

九州北部豪雨では、多くの流木が海に流れ出した結果、船舶航行や漁業に支障が出るなどのトラブルが発生し、大きな問題となりました。大規模災害にあたっては、災害協定を締結した関係団体や多くの機関が協力して海面を浮遊する流木等の撤去を行うこととなります。

その中で3月7日(水)、台風によって船舶航行の支障となる多くの浮遊物が淡路島南岸沖に集まっているとの想定で、当事務所と近畿地方整備局和歌山港湾事務所が合同訓練を行いました。

この訓練は、航路を確保するための支援、受援体制の確認、問題点の抽出を目的としたもので、具体的には状況等の相互情報伝達、防災ヘリ情報の共有と運動連携、海面清掃兼油回収船での回収訓練等を行いました。

現地において、まず四国地整の防災ヘリ「愛らんど号」が上空から撮影した被害や対応状況の映像を四国地整及び当事務所へ配信し、次に当事務所の「みずき」と和歌山港湾の「海和歌丸」が浮遊物の回収、大きな流木の切断及び回収訓練を行いました。最後に浮遊油を想定した放水拡散訓練を行いました。

台風や豪雨、或いは津波後には、大量の浮遊物を速やかに撤去し、船舶が安全、或いは緊急に航行できる航路の確保が必要です。

当事務所においては、これからも訓練や検討、他組織連携等を進めて参ります。



↑ 浮遊物回収



↑ 流木の回収



↑ 浮遊油の放水拡散

INDEX ▶

- みなと報告 1
台風による大量漂流物からの航路確保に向けて~近畿地方整備局との合同訓練~
- みなとインフォメーション 2-3
小松島港湾・空港整備事務所 平成30年度事業概要
- みなと通信 4
報告「平成29年度手づくり郷土賞の大賞部門を特定非営利活動法人アクア・チッタと徳島県が受賞」
報告「徳島小松島港におけるクルーズ船寄港予定」